

子どもの読書に関する
アンケート調査報告
(概要)

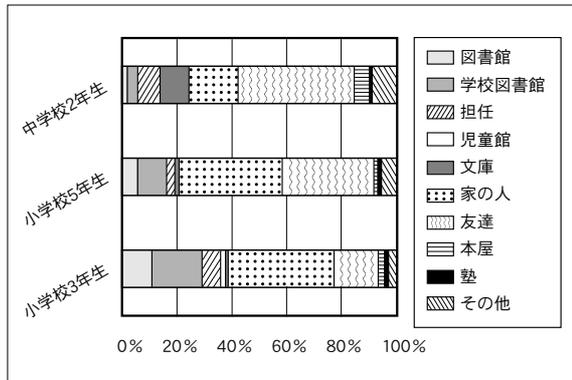
西東京市図書館では、「子ども読書活動推進計画」の策定にあたり、その一環として、子どもたちの読書環境や読書状況を知ることが目的としたアンケート調査を、昨年度末に行いました。

今までの調査では図書館に来館する子どもだけを対象にしていましたが、今回は図書館に来ない子どもたちの状況も包括的にとらえることが重要と考えました。そこで、市内の公立中学校2年生、公立小学校3年生・5年生について、各校1クラスずつを調査対象としました。調査結果について概要をご報告します。

①読書体験について

「小さい時に絵本などの本を読んでもらったことがある」と答えた小学生は93%、中学生は78%で、多くの子どもたちが幼いころから本に親しんでいたことがわかります。最近、朝の読書を習慣づけている学校も増え、読書離れの危機感は薄れているのでしょうか。本を読んでもらうことに小学生の80%以上が、中学生でも67%が抵抗がないことがわかりました。

●本のことで一番話しやすい人(グラフ①)



②読書相談について

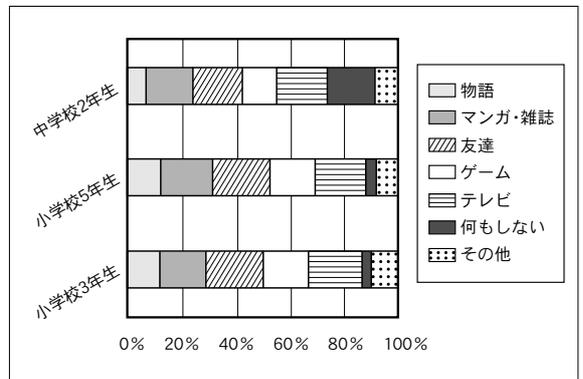
「本のことで一番話しやすい人」については、小学校3年生、5年生ともに「家の人」が第1位で、家族のアドバイスなどが読書に影響を及ぼしていることがわかりました。5年生では第2位の「友達」も多く、中学生になると順位が逆転し、「友達」が第1位となります。友達関係が大切になる時期と呼応しているといえます。(グラフ①参照)

しかし、ある中学校では、1クラス28人のうち21人が、クラス担任と答えています。先生が与えている影響の大きさを数字から察することができます。

③図書館の利用について

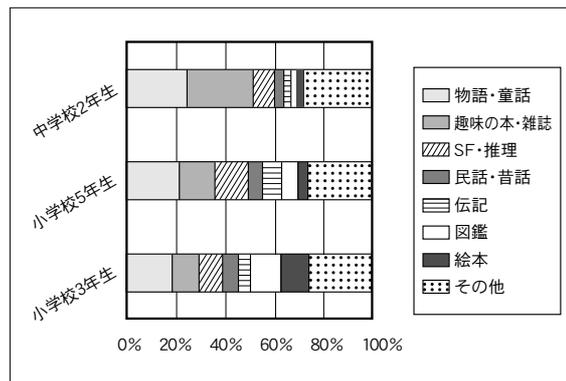
図書館に行ったことがある割合は、小学生、中学生ともに98%でした。そ

●ひまな時間の過ごし方



のうち、小学校3年生の67%、同5年生の74%、中学生の85%が自転車を利用して行きました。自転車で行ける範囲に図書館があり、子どもたちにとって身近な存在であることがわかります。

●好きな本のジャンル



このほかにもこれからの図書館活動において、参考になる結果が得られました。今後「西東京市子ども読書活動推進計画」に役立たせ、子どもたちにとってよりよい環境づくりを目指したいと考えています。

子どもの読書アンケート調査項目

※選択肢は省略

- 1 本を読むことは好きですか
- 2 本を読んでもらうことは好きですか
- 3 1ヶ月に何冊読みますか
- 4 本をどこで探しますか
- 5 本をどこで読みますか
- 6 本について一番話しやすいのはだれですか
- 7 パソコンで本のことを調べたことがありますか
*あると答えた人はどこですか
- 8 両親(どちらか)は本を読みますか
- 9 小さい時絵本を読んでもらったことがありますか
- 10 ひまな時間は何をしていますか(いくつでも)
- 11 好きなジャンルは何ですか(いくつでも)
- 12 自分で、主にどんな本を買いますか(中学生のみ)
- 13 好きな著者をあげてください(3人まで)
- 14 図書館に行ったことがありますか
*あると答えた人は、
どこの図書館ですか(いくつでも)
- 15 図書館には、主に何で行きますか

調査対象者数	中学校2年生	284人
	小学校5年生	582人
	小学校3年生	602人